

地方に於ける事業經營上の中樞機關たる交通施設の如何が産業の發達助長に密接なる關係を有するは敢て言を俟たざる所にして、財政問題の出發點亦道路問題に縫着すと云ふも過言にあらざるなり。

前農商務次官 岡本英太郎

農村道路の改良に就て

道路改良會長から、農村道路改良問題に就て、何か所感を述べよとの御要望でありますから、今左に簡單に如何に農村道路問題が農村發達上又農業經營上、至大の關係を有するかを述べて見たいと思ふのであります。

交通は人文發達の魁である

申す迄もなく交通は人文發達の魁であり、一國の文野は交通の便否を以て測定し得ると謂はるゝ程で、東西文明發達の遲速も亦少くも其重要な原因を此交通問題に置かねばならぬと思ふ、交通は實に文化の第一開拓者である、歐羅巴は何が故に世界文化の先驅者となり、亞弗利加は何が故に其殿りとなつたかと謂へば、勿論歐洲全土が特に分水嶺低くして陸

と云ひ、水と云ひ、其自然が交通問題を解決し易からしめた事でもあるが、特に歐人が其交通力の發展に全力を注いだのが重要な原因である。殊に陸上道路の如きも其組織に於て、其技術に於て、周密なる永遠の大策を樹立して文化の發達に貢献したからである、羅馬道路は實に交通發達史上一大時期を劃したのである、邦人の渡歐する者の第一に驚くのは、皆此道路の完備にある、否寧ろ「歐羅巴人の趣味が道路道樂にある」と謂はるゝ位である、都市は勿論各農村から、山の奥地に至るまで四通八達の完全なる道路を敷設して居る、交通問題殊に道路問題に至つては、農村の如き僻陬の地に於ては特に産業經濟發展上の大動脈ともなるべきもので、近頃特に八ヶ間敷き農村問題に就ても、道路の改良と至大の關係を有するものが多々あるのであります。

大戰後の世界的財界不況の影響

大戰後の世界的財界不況の影響は我農村にも及び、農民殊に中小農業者の困憊は著しく、農村救濟問題益論議せらるゝに至つたが、之が對策としては、或は農村教育問題となり、或は負擔輕減問題となり、米穀法の運用問題、自作農創定問題、農務省獨立問題、海外移民問題等の諸問題となつて居る

のでありまして、是等は何れも必要な問題には相違ないが、私は専ら農民自身の自力を本位とせる産業組合制度の普及發達こそ農村振興の第一義とせねばならぬと思ふのであります、協同は力である、信用は生命であると云ふ精神、即ち自助共助と協同融和の精神に立脚し、社會上經濟上の地歩を高めて、自給自足共存共榮の實を擧げねばならぬと思ふのであります、ところが此農民の互に相融和し相共力し人的結合に依つて其農村全體の活動力を増す爲めには、少くも先づ其交通路と交通具との發達を圖らねばならぬ、現代の日本は交通具

は比較的發達して交通路が之に伴はない嫌ひがある、田舎に於て殊に然りである、然るに我國に於ては水上の交通問題は別として、陸上の交通殊に道路に至つては、都鄙を通じて不整備極まるもので、軌近我國の鐵道網の發達は著しきものがあります、道路に至つては實にお恥しい次第で、先づ我國文化交通産業の第一障害は道路の不備にあると謂ふて宜しからう、特に農村は道路の不整頓の爲め、其人文並に經濟の發達を阻害せられて居る事は夥しいと思ふ、今理想論に走るかも知れませんが、出來得べくんば先づ農村部落の中心に農村自治機關、教育機關、組合金融機關、公會堂等の諸機關を綜合して中心地域となし、諸種の事情を斟酌して重要な幹

線村道を敷設し、他町村の交通幹線との聯絡を整備して、重要な溝渠の配置と相關聯しつゝ、之を基礎として或は耕地の整理に、或は村道の改修に、永遠の大計を畫し之に由つて里道、溝渠、畦畔、堤塘等の諸問題を解決せば、如何に産業經濟交通の力を増大し得らるゝか知れないのである、元來農村の開發は常に農産物收穫の増加のみならず、時間と努力との節約を圖り、經費の減少を圖らねばならぬ、而して其餘剩の力を進んで農家經濟の改良に致さねばならぬ、道路の改良は此點に於て至大の關係を有するものである。

農業作業上耕地は可成自己の住宅の近くに あるを必要とす

農業作業上から觀ると、耕地は成るべく自己の住宅の近くにあることを必要とするものである、完全な道路があれば種苗、農具、肥料等の運搬のみならず人畜の交通其他作業上に至大の便宜を得ることとなり、其結果比較的遠隔の地まで耕作地の延長開拓を圖り得ることとなる、即ち一方では耕地の増加を圖り得るのみならず、又他方には一層集約的な經營をなし得ることとなつて農家の收益増進を圖ることとなる、換言すれば、同一事情の下に於ては改良道路ある農家は、然ら

ざるものよりも比較的僅少の時間と努力と、従つて僅少の經費とを以て耕作し得ることゝなる、即ち經營費の節減に由る生産費の減少を來すことゝなるから、其影響は決して農業經營上の問題のみではありますまい。更に生産物の輸送及販賣上からざる影響を蒙ることゝなる、汽車水路の便少き農村に於ては道路に依るの外無く、道路は農村に於ける通商路である、道路の完備は即ち市場の接近を來すことゝなる、從來よりも新鮮なる農産物を便利に供給し得られて市價を高むるに至るものである、更に各農家で需要し購買する多大の物資を割安に購入し得らるゝのである、農村に於ける副業奨励に基いて諸種の穀菽類、畜産物、林産物等の増加を來しても、交通の不便なるが爲めに折角の發達を妨げられて其儘に終ることもある、其他農業的工業、農業的商業の發達に就ては尙更である、農産物の種類に依り殆んど運搬費が其原價の大部分を形成するが如きものにあつては其、影響の甚大なること推して知るべきである、其他最近人力を節減する爲めのみならず、人力の及ばざる精緻神速の作業を爲す爲めに諸種の器具機械の應用盛なるに至つたが、之れ亦道路不備ならば其發達を阻害することが少なからぬことと思ふ。

以上農村道路に依る交通の備不備が如何に農村の振興に關

係深きかの概略を述べた積りであります。

貴族院議員 大村彦太郎

大正十四年度に於ける政費節約の爲道路改良費豫算を全部削除すとの風聞には賛成せず

來る大正十四年度に於ては、政費節約の爲め道路改良豫算を全部削減するの風聞あれと余は之に賛成せず、寧ろ進んで改良の實を擧げられん事を切望す、抑も都市の改良發展は先づ道路の完成を先にして初めて其實あるべし、歐米先進の都市悉く然り、獨り我國のみは從業より人家の稠密に連れ、止む無く道路の改正に着手するの狀態にて本末を誤ること甚しく、洵に遺憾に堪へざる所なり、殊に車馬絡驛交通上より起る事故の如き一に道路の不完全に因るものにして、今後益々自動車等の疾驅するに於ては、其危險云ふばかり無く道路改善の要愈大なる事勿論の次第也。

今日道路工事を中止又は繰延するは都

市及農村の發達を阻害す